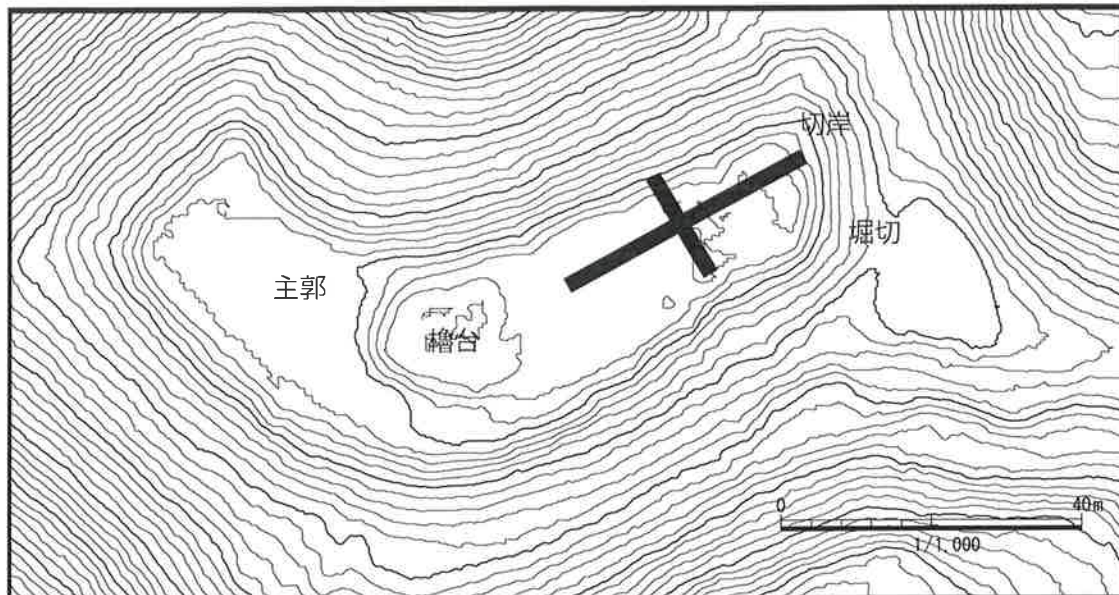


# 野口城跡 現地説明会資料





野口城跡調査地点図



野口城跡調査平面図

### 野口城跡における試掘確認調査の概要

調査では、切岸・堀切などで守られた主郭において、柱穴及び土坑を検出しました。柱穴のうち柱筋が通り、柱穴列となるものがあります。これらは、掘立柱建物跡の一部になるものと考えられました。柱穴は切り合いが多く、建て替えられた可能性があります。また、主郭の北端では、小礫を伴う土盛りと柱穴を確認しました。主郭を囲む施設の痕跡と想定されます。遺物は、当時の酒器である土師器皿が大半を占め、他に天目茶碗、瀬戸美濃焼の皿の破片などが見つかりました。

野口城跡は、古川盆地の最北端に位置し、富山への街道と数河峠への街道の合流点に立地することから、中世の飛騨において重要な城の一つであったと考えられていました。今回は、掘立柱建物が建っていたことや、そこで使われた可能性がある遺物が見つかり、城の使われ方や年代を考える手がかりを得たと言えます。